



辻小学校だより

学校教育目標

○学ぶ子（知） ○やさしい子（徳） ○元気な子（体）

いじめは「しない」「させない」「ゆるさない」
～11月はいじめ撲滅強調月間です～

校長 近藤 百合

令和7年度の運動会が10月18日、無事に開催されました。9月の下旬から練習をスタートしていましたが、暑さがまだ残る中、子供たちの暑さ対策も考えたスタートでした。10月に入ると徐々に運動をしやすい気候になり、雨も運動会の週に少し降ったくらいで比較的お天気にも恵まれました。どの種目も子供たちが一生懸命取り組む姿が練習の時からみられ、とても微笑ましかったです。

様々な団体種目があり、ここでの子供たちの団結力は素晴らしいかったです。練習の時には勝ち続けていたクラスが、当日には逆転される…。団体種目にはよくあることです。練習の時にうまくいったことや失敗してしまったことは、次に生かす、それは一人の力ではなく、友達との協力によって達成されるもの。と団体種目を通し、子供たちが日々、協力の輪を広げるという成長を遂げることができたのではないかと感じています。もちろん勝負には勝ち負けがありますし、勝ち負けにこだわってもよいと思います。しかし、友達と協力し、取り組める団体種目では勝っても負けても「チームワーク」という素晴らしい経験を積むことができます。勝てたときにはともに喜び、負けてもチームワークよく頑張ったことをともに賞賛しあうということは団体種目でないと味わえないことだなと感じます。そういう意味でも発達段階を考えた様々な団体種目はとても見えたえがありました。運動会での経験は「これからに生かす」という子供たちの心の成長につながると思います。

保護者の皆様には運動会に向けた子供たちへの励まし、当日の応援、本当にありがとうございました。また、PTA執行部の皆様ならびにボランティアの皆様も運動会の運営にご協力いただきありがとうございました。

さて、埼玉県は11月が「いじめ撲滅強調月間」です。いじめは人として絶対に許されるものではありません。人権を踏みにじる卑劣な行為です。いじめを受けた人の心の傷はなかなか消えることはありません。辻小学校でも「いじめ防止等のための基本的な方針」を策定し、毎年見直しを行っています。学校のHPにも掲載しております。また概要版も作成し、基本方針をわかりやすく示しております。学校では「未然防止・早期発見・早期解決」に取り組み、道徳や学級活動を中心に「いじめは人間として絶対にしてはいけないこと。いじめをしない、させない、ゆるさない」を繰り返し指導しております。

残念ながらいじめを根絶することは難しいです。日々の生活の中で、ちょっとしたすれ違いや誤解から人間関係にゆがみが生じてしまうことがあります。小さいことから相手の悪口をいう、意地悪をする、仲間外れをするといったこともあります。自分の気持ちを言葉でうまく伝えられず、つい叩いてしまう、蹴ってしまうこともあります。近年ではSNS等のトラブルが多く起きているという現実もあります。子供たちからの「ヘルプ」の声が上がる場合や、教師の目が届くところではすぐに指導することができます。しかし、いじめは大抵目の届かないところで起きています。保護者や地域の皆様の発見も重要です。

もちろん一人一人の子供が「いじめはダメ」と考え、行動できればよいのですが、人間の心は弱いものです。「いじめは悪い」とわかっていてもできないことがあります。だからこそ大人は、繰り返しの指導と見届けが重要になります

学校では「いじめはどの学級でも起きている」という危機意識をもって、早期発見・早期解決を図れるよう、引き続き、いじめ根絶に向けて取り組んでいきます。ご家庭でも改めて具体的に「弱い者いじめ、悪口、ものかくし、意地悪、仲間外れ等、相手が困り、悲しむような卑劣なことは絶対にしない」ようにお話しください。また、子供たちが「いじめられている」ことをご家庭で勇気をもって話してくれたときには、「よく話してくれたね。」「私はいつでもあなたの味方だよ。」と伝え、学校までご連絡ください。

友達に思いやりをもって、協力し合うことができる辻小の子供たちです。「いじめは絶対に許さない」を合言葉に、学校と家庭・地域で連携しながらいじめの根絶を目指しましょう。